

「こころは 健保組合です！」

京葉運送有限会社の巻

(船橋市)



「2020年夏季東京オリンピック・パラリンピック」開催の立候補表明から2年にわたる招致活動を経て、9月7日(日本時間8日)、アルゼンチン・ブエノスアイレスにおける国際オリンピック総会での最終プレゼンテーションの結果、決選投票により東京がトルコ・イスタンブールに勝利し、開催が決定しました。ロケ会長(当時)から「TOKYO」と発表された瞬間、読者の皆さまも早朝



▲鈴木 正社長

う「碓井鋼材株」で、関東圏内の納品先への配送を手がけられていらっしゃる。

特に、両社とは良好な信頼関係を築き上げられ、鈴木社長は「今後もビジネスパートナーとして相互に企業経営を発展させていきたい」とおっしゃいました。取引先からの強い信頼を勝ち得てこれら背景には、私たちの想像以上のご苦労がおりかと思えますが、鈴木社長が培ってこられた経営ノウハウとご自身の魅力的な人柄が、優良企業との取引や優秀な人材を引きつけ、安定した経営活動



▲出発を待つ京葉運送(株)のトラック

にもかかわらず、大きな拍手と歓声で祝福されたことでしょう。

1964年に開催された東京オリンピック以降、国民の間にスポーツに対する関心が高まり、子どもからお年寄りまで幅広い層で「スポーツ人口」が増加するとともに、その実施目的や内容も多様化しています。

私たち人間にとって体を動かし汗を流すことは、健康になるための重要なポイントであり、併せて食事やストレスをうまくコントロールすることで健康な体を維持することができま。

今回の開催決定に伴い、スポーツや運動がますます身近なものとなり、健康の保持・増進ならびに疾病予防につながり、健康寿命の延伸が図られることに期待すると

を継続されてこられたものと感じました。

そうしたお話を伺い、私たちが保険者として、被保険者やそのご家族の方々に信頼される健保組合をめざし、皆さまにご満足いただける事業を展開していきたいと考えさせられました。

事故防止対策セミナーなどを開催し、人材育成と安全対策に積極的に取り組む

次に、社員教育の話題に移行しました。

京葉運送では、求められるニーズへの対応ならびにいっそうのサービス向上をめざし、定期的な取引先との合同研修会の場を設けて、情報交換やお互いの知識を共有し業務の効率化を図っています。加えて、千葉県トラック協会船橋支部が開催する各種講習会への参加や、外部講師を招いての事故防止対策セミナーなどを開催し、日頃から人材育成と安全対策に積極的に取り組んでいらっしやいます。

わがトラック運送業界は、私たちの生活と日本経済を支えるライ

ころです。

☆ ☆ ☆

台風一過の秋晴れとなった10月3日、私たちは第64回目の事業所訪問先として、船橋市に所在する京葉運送有限会社(鈴木正社長)にお邪魔することとなりました。

同社が所在する船橋市は、昭和12年4月に船橋町、葛飾町、八栄村、法典村、塚田村が合併して誕生しました。東京湾に面していることから昔から漁業の街として栄え、東京近郊という立地条件もあって交通網が発展し、東京のベッドタウンとして年々人口が増加しています。現在、千葉県内では千葉市に次ぐ人口第2位の都市です。

今回の目的地は、全国各地から生鮮食料品等が集まり、早朝から活気あふれる競りが行われる「船橋中央卸売市場」からほど近いところに本社を構えられています。

「こんにちは健保組合です！」と事務所を訪ねると、従業員の方々に応接室に案内されました。しばらくすると、ご多忙のところ今回の取材に快くご協力いただきました鈴木社長がお見えになり、貴重

フラインを担っており、東日本大震災などの自然災害が発生した際には、発生直後から被災地に緊急支援物資の輸送を行うなど社会貢献に寄与してきました。しかしながら、近年では燃料価格などの経費が高騰して運賃価格競争が激化し、さらには、安全や環境規制などコンプライアンス遵守の徹底が義務づけられ、運送事業者ならびにドライバーは厳しい環境下での仕事を強いられています。

鈴木社長はご自身の経験から業界の過酷な労働環境を危惧され、「社員には安定した仕事と生活を保証し、安心して仕事ができる環境づくりを心がけています。働きやすい職場環境を整備することで、使命感や責任感が向上し充実したサービスが生まれます」と強くおっしゃいました。社員の待遇改善と意識改革にたいへん腐心され、努力されている様子がうかがわれました。

このように鈴木社長は、「経営者の目線」と「現場の目線」の両方の目線で物事をとらえ、さまざまなビジネスシーンで適切な判断につなげることで、取引先をはじ

な時間をちゅうだしい取材を始めることとなりました。鈴木社長には、日頃より組合会議員として当健保組合の健全運営にご協力をいただいております。

培った経営ノウハウと魅力的な人柄が、優良企業との信頼関係を築き上げる

私たちは初めに、社史と設立当時の業務についてお伺いしました。

京葉運送は、鈴木社長のご祖父が大正初めに、人力車や馬車で材木や砂利などの建築資材の配送業務を始められたことがきっかけのことでした。その後、昭和35年12月、貨物運送事業を目的に、京葉運送有限会社として事業をスタートされました。鈴木社長は3代目として、長きにわたり先代が築き上げてきた実績と信頼を継承されていらっしやいます。

現在の主な取引先をお聞きすると、米油や菜種油を中心とした家庭用・業務用食用植物油のほか、米ぬかなど天然由来原料を使ったせっけん・化粧品など健康商品の生産・販売を行っている「ポーション油脂株」と、鉄鋼材料を取り扱

め社員一人ひとりと信頼関係を深めてこられたものと感じました。

最後にご自身の健康への取り組みについてお伺いすると「特にありません」とご謙遜されましたが、ふだんから暴飲暴食を控えることと、ストレスをためない生活を心がけていらっしやるそうです。ご自身に合ったストレス発散・解消法を熟知されているとお見受けしましたが、鈴木社長には健康管理に十分注意していただき、公私にわたりこれからもお元気でご活躍されますよう祈念しております。

☆ ☆ ☆

本誌が皆さまのお手もとに届く頃は、インフルエンザなどの感染症が流行する時期です。早めのワクチン接種(当健保組合ではインフルエンザ予防接種の補助を実施しています)やうがい、手洗いなどの予防対策を万全にしていたいただき、どうぞ健康でよいお年をお迎えください。